

第 55 回 埼 玉 県 学 校 事 務 研 究 大 会

大会テーマ「豊かな環境を確かな支援で ～学校事務の可能性は∞～」

— キャリアマネジメント —

埼事研は、第四次研究中期計画を策定し、子供たちが豊かな学びの環境の下で過ごすための学校事務の可能性を追究しています。大会テーマは、第四次研究中期計画の研究テーマでもあります。学校や社会を取り巻く環境が絶えず変化していく中、学校事務の在り方についても時代に合わせて可能性を広げて考えることが、子供たちの学びの環境づくりにつながると考え、テーマを設定しました。

今年度の年次別研究課題は「キャリアマネジメント」です。キャリアマネジメントとは、自身の経歴を主体的に構築していくことです。自分が成し遂げたいことや在りたい姿を考え、それを実現するためにどのような経験を積み重ね、力量を身に付けるか計画し（キャリアデザイン）、状況に応じて計画を再構築し、軌道修正することを指します。キャリアマネジメントを通じて、各自がやりがいをもって仕事に向き合い、力を最大限に発揮することが期待できます。

また、令和5年3月8日に中央教育審議会が答申した「次期教育振興基本計画について」において、ウェルビーイングの向上が基本的な方針の一つとして掲げられています。ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることです。要素として幸福感や自己実現（達成感、キャリア意識）を含みます。

事務職員がウェルビーイングを向上させながら目標の実現に向けて行動することは、事務をつかさどる職としての役割を果たし、子供たちの学びの充実につながると考えます。キャリアマネジメントは事務職員にとって欠かせないものとして捉えられますが、現状において私たちはどの程度自身のキャリアについて考え、状況に応じて計画を見直し、行動することができているでしょうか。

本研究大会を通して、事務職員がキャリアマネジメントを行う上での課題や改善策、資質向上を図るための環境整備について会員の皆様と共に考えたいと思います。

**** 研究発表 ******

豊かな環境を確かな支援で～学校事務の可能性は∞～

— キャリアマネジメント —

事務職員のキャリアマネジメントとは、自分が成し遂げたいことや在りたい姿の実現に向けた計画（キャリアデザイン）を、仕事や家庭等の様々な要素を踏まえて見直しながら、目標の実現に向けて行動することと考えます。

本研究では、自身のキャリアマネジメントについて考える必要性や関連する要素、事務職員の意識と現状を確認します。そして、キャリアの描き方やその際の留意点を整理するとともに、キャリアマネジメントの推進に向けた人事評価システム等の活用や改善策を提案します。また、資質向上のために必要な研修制度の在り方や共同実施組織・共同学校事務室が果たす役割について皆様のご意見を伺いたいと思います。多くの方にご参加いただけると幸いです。

研究協議

柱1 キャリアマネジメントを行う上での課題と改善策

柱2 事務職員の資質向上を図るための環境づくり